



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島司教区 電話099(226)5100 振込口座02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円

道標



Yet...Joy! Hope! Gratitude!

司祭職について熱心に学ぶ

今年の三教区合同黙想会

五月二十八日(月)から六月一日(金)まで、大分、那覇、鹿兒島の三教区司祭が集い研修し、交流を図る三教区合同黙想会が霧島国際ホテルを会場に開催された。

毎年この時期に開催されているこの黙想会の今年も参加者は司教、司祭に助祭、終身助祭が加わった五十二人。今年の黙想指導はイエズス会の英隆一朗神父だった。英神父は現在、イエズス会日本殉教者修道院「黙想の家」(鎌倉市)所長を務め、上智大学神学部講



英神父から熱心に学習する司祭たち

師として霊性神学を教える傍ら各地で黙想指導している。また著書に「ここを病む人と生きる教会」、「祈りのはこぶね」他がある。英神父の講話のテーマは「司祭職について」で、聖書に基づいて司祭職の原点を探るものだった。

神父は「キリストはヨルダン川で洗礼を受けたとき『これは私の愛する子、私の心に適う者』という言葉を受ける。以来キリストの心を買っていたのは父からの愛であった。司祭もこの愛を特別な形で受けている。司祭に課せられた使命はこの愛に生き、この無償の愛を伝えることである」と。また、福音宣教については「マタイ十章を節ごとに追いつながら、そして司祭についてはマタイ十八章を読むながら説明を行った。そして最後に『私たちが多くの失敗をするだろう。しかし、その度ごとにペトロに倣い『私はあなたを愛します。』(ヨハネ二十一の15〜17)と答えるよ

うに」と強いメッセージを送った。今回出席した司祭たちは、黙想会の期間中、共に

子どもたちのために協力を

愛の聖母園を支える会

児童養護施設「愛の聖母園」(鹿兒島市上福元町五五〇七一二)は、私立学校や専門学校に通う子どもたちの教育費の捻出に苦慮している。そのため園を応援する「愛の聖母園を支える会」(会長 ホセ・ゲルコス鹿兒島ラサール中学高校校長)を通じて、以下のように、財政的協力と呼びかけている。

「日頃から愛の聖母園を支える会へのご協力を感謝申し上げます。愛の聖母園には将来を担う子どもたちが多数在籍しています。ところが諸経費、特に私立学校や専門学校のための教育費などに困窮しています。随時会員(支える会ではローソク会員と呼ぶ)として一口千円でもかまいませんので、教区の皆さまのお志をお願いいたします。思います。なお、詳細は各教会に置いてあります愛の

教会の祈りを唱え、ミサをささげ、多くの分かち合いを行い、親交を深めることができました。参加した司祭の一人は「とても内容のある黙想会となった。祈りで支えてくれた教区の信者たちにも感謝したい」と充実した黙想会の感想を語った。

各地で堅信式

- ▼始良教会 五月二十七日(日) 始良教会では郡山司教を迎えて堅信式があり、二人が受堅した。
- ▼谷山教会 六月三日(日) 谷山教会で郡山司教司式による堅信式。

新風

高校生の頃、一念発起し大型バスでの長崎巡礼に出かけた。指導司祭は成相明人神父さまだった。滑稽だが、自分なりに信仰を持って生きるか生きないかの選択の巡礼でもあった。西坂に行き、二十六聖人の心に触れたように思えた。永井学生センターに泊まり、如己堂では片岡弥吉先生の泣きながらの説明も受けた。何か不思議な旅だった。これを契機に川内教会に多くの高校生が集るようになり、聖書の分かち合いが始まった。指導司祭はビデンマン神父さま。「敵を愛しなさい。そんなことできない。しかし、それができたら素晴らしい」「ゆるしなさい。たぶん二、三回が限界。しかし本物の許しは二、三回じゃないかも...」「ちりに戻る? それじゃ、俺は好きなことをして生きてやる」多くの疑問を吐き出しながら、良心の渴きが癒されていく過程だったと思う。主の

みずから

み言葉が素直に心に響き、世間の考えにそるそ染まろうとする時期にストップを与えて頂いた。この世の考えでは、ゆるしは相手が謝ってから。敵は徹底して憎むもの。死んだら土に戻る。しかし高校生の中には良心の持つているみ言葉への憧れがあった。それからは七十倍ゆるす方法、敵を愛する手段、永遠の命を得るみ言葉探しにみずから没頭して行ったように思う。もしかしたら意味を感じていなかったかもしれない教会学校だ。しかし教会学校があったからこそ長崎巡礼にも行けた。みずから動けない時期に多くの方々とりわけ神父さま方、教会学校のリーダー方に見守って頂いた。この時代、巡礼を企画する司祭方に心から感謝したい。また子供たち、中高生を見守り続ける教会学校のリーダーたちにも小さな司祭の大きなエールを送りたい。若者たちがみずから動き出すまで教会はその苗床でありたい。(教区本部 寝占敦之)

訃報

- ▼糸永信義さん 糸永真一名誉司教の令兄。ペトロ糸永信義さん(八十五歳)が五月三十日(水)午後十時二十五分帰天した。信義さんの葬儀は六月一日(金)佐世保市の俵町教会で糸永真一名誉司教の司式でしめやかに執り行われた。
- ▼今給黎取さん 長年、串木野及び川内内で伝道士として働いたイグナチオ今給黎取さんは、病氣療養中だったが五月二十七日(日)亡くなった。今給黎さんの葬儀ミサは、四人の司祭の司式で串木野教会で執り行われた。八十一歳だった。

2012 ザビエル上陸記念祭

8月15日(水) 午前8時

- 第一部 ザビエルウオーケ
- ザビエル上陸記念碑前(鹿兒島市祇園之洲)を午前8時出発しザビエル教会を目指します。
- 第二部 平和祈願ミサ 午前10時30分
- 第三部 平和の鐘を鳴らそう
- 鹿兒島ユネスコ協会と協力して正午にザビエル教会の鐘を鳴らします。
- 第四部 茶話会

キリシタンの歴史(六)

―女性とキリシタン その2―

溝辺教会主任司祭 坂本 進

1 細川ガラシア夫人
戦国時代の武士の妻女として最も知られているのは、細川ガラシア(本名お玉。明智光秀の娘。一五六三〜一六〇〇)です。

彼女は、織田信長に仕えた明智光秀の娘で、才色兼備、絶世の美女と言われるほど美しく、父親譲りの優れた資質・能力を持ち、学問にも秀でていました。光秀の友人で、後に熊本肥後の大名となった細川家の当主幽斎の息子・忠興に、十六歳の時、嫁ぎました。ところが、玉が二十一歳の時に、玉の父親・光秀が主君の信長に対し謀反を起こして信長を討伐。十二日後には、また光秀も討たれるという出来事が起こったのです。光秀を討つて天下人となった豊臣秀吉は、謀反人光秀の娘である玉を処分しようとした。妻を愛していた忠興も、これに従い、人のいない僻地丹後の味土野に玉を幽閉したのです。

玉は、自分の身に起こった災難、そして、細川家の安泰をはかるため自分を権力者の命によって処分しようとした夫の非情さに、人生の無情さを感じました。やがて、数年が経ち、忠興が天下人となった秀吉に懸命に忠勤を励んだことから、秀吉は、玉が細川家に戻ることを許したのです。でも、玉の人生に対する無情さ、虚しさの思いは消えません。そして、秀吉に許されたとはいえ、逆賊明智光秀の娘という負い目・罪悪感、常に、玉の気持ち

を重くさせずにはおきませんでした。そのような時、夫・忠興の親友であったキリシタン大名ジュスタ高山右近が、キリシタンについて話している内容を、忠興から聞いたのです。キリシタンの教えの中に、人生の無情や罪悪感を取り去る魂の救い、魂の清らかさ、そして、人のあるべき生き方があることを、玉は見出し始めました。

玉は、高山右近やバテレン(神父)の教えを、直接聞いてきた侍女の話も、喜んで聞くようになったのです。右近やバテレンはこう教えました。「キリシタンには、男・女、身分の差別などはなく、女は男の道具ではなく、人は皆平等である。また、人は過去の重荷・苦しみを負い続けて生きる必要はなく、神のいつくしみを知ることで、いつくしみ放たれて生きていくことが出来る」。逆賊明智光秀の娘という重荷、夫忠興が細川家を守るため自分を捨てたという無情さも、やがては祝福に変えられていくのだというキリシタンの教えを知るに及び、玉は救いを得るに至ったのです。玉は、洗礼を受け、キリシタンになりました。洗礼名は、ガラシア。

それに、玉は、度重なる戦争で孤児となった子供たちや病人の面倒を率先して、また、魂の清らかさ美しさを求め続け、キリシタンとしての生き方をまい進していきました。夫・忠興にも忠実に仕え、子供たちにも慈愛に基づくくしかし凛とした武士としてのしつけを与え、良妻賢母の模範ともなったのです。権力者であり、玉の美貌を聞いて側室にしようとしていた秀吉に呼び出された時は、懐に短刀を忍ばせ、これを見せることよって、身を守ることを決然と表明もしました。

関ヶ原の合戦の折りに、夫・忠興の命に従い、敵方石田方の人質になることを拒み、屋敷に火を放ち、細川家を守るため、家老・小笠原に身を突かせて殉教したのです。

玉は、この時、ロザリオの祈りを唱え、天主にすべてを委ね、復活の栄光を信じて殉教しました。この生き方は、また、私たちの復活を信じて生きる生き方でもあります。

玉は、この時、ロザリオの祈りを唱え、天主にすべてを委ね、復活の栄光を信じて殉教しました。この生き方は、また、私たちの復活を信じて生きる生き方でもあります。

玉は、この時、ロザリオの祈りを唱え、天主にすべてを委ね、復活の栄光を信じて殉教しました。この生き方は、また、私たちの復活を信じて生きる生き方でもあります。



ちに慈愛に基づくくしかし凛とした武士としてのしつけを与え、良妻賢母の模範ともなったのです。権力者であり、玉の美貌を聞いて側室にしようとしていた秀吉に呼び出された時は、懐に短刀を忍ばせ、これを見せることよって、身を守ることを決然と表明もしました。

もあるのではないのでしょうか。人は自分が救われること、癒されること、受け容れられること、祝福されることを求めようとしません。でも、それは違うのではないのでしょうか。片手落ちではないでしょうか。有馬ジュスタ夫人、細川ガラシア夫人、カタリナ永俊尼は、自分が祝福されるためには、他者のために生きること、相手を癒し、受け容れ、祝福していくことよって、自分が救われ、癒され、祝福されていく秘儀を知っていたように思われるのです。他者のために生きる

もあるのではないのでしょうか。人は自分が救われること、癒されること、受け容れられること、祝福されることを求めようとしません。でも、それは違うのではないのでしょうか。片手落ちではないでしょうか。有馬ジュスタ夫人、細川ガラシア夫人、カタリナ永俊尼は、自分が祝福されるためには、他者のために生きること、相手を癒し、受け容れ、祝福していくことよって、自分が救われ、癒され、祝福されていく秘儀を知っていたように思われるのです。他者のために生きる

もあるのではないのでしょうか。人は自分が救われること、癒されること、受け容れられること、祝福されることを求めようとしません。でも、それは違うのではないのでしょうか。片手落ちではないでしょうか。有馬ジュスタ夫人、細川ガラシア夫人、カタリナ永俊尼は、自分が祝福されるためには、他者のために生きること、相手を癒し、受け容れ、祝福していくことよって、自分が救われ、癒され、祝福されていく秘儀を知っていたように思われるのです。他者のために生きる

もあるのではないのでしょうか。人は自分が救われること、癒されること、受け容れられること、祝福されることを求めようとしません。でも、それは違うのではないのでしょうか。片手落ちではないでしょうか。有馬ジュスタ夫人、細川ガラシア夫人、カタリナ永俊尼は、自分が祝福されるためには、他者のために生きること、相手を癒し、受け容れ、祝福していくことよって、自分が救われ、癒され、祝福されていく秘儀を知っていたように思われるのです。他者のために生きる

きる人間、これがキリシタンの教えに生きる生き方であり、二〇一二年に生きる私たちカトリック信者の生き方でもあるのではないのでしょうか。

2 八代殉教祭

細川ガラシア夫人の細川家は、関ヶ原の合戦の功によって丹後から豊前小倉次いで一六三二年に肥後熊本に移封されました。上智大学を卒業した元首相の細川さんは、その細川家の殿様十八代当主で、ガラシア夫人の子孫です。カトリックの影響を受けておられます。

生きる 諸宗教との対話から 終身助祭 川口 茂

先日、鹿児島県宗教者懇話会に行ってきました。この会の会員は神道の方が最も多く、次いで仏教とキリスト教が同じくらいで、あとは諸宗教の方々でした。他の宗教の方々とお付き合いをしていくうちに私たちに必要なことが少し見えてきました。それはまず自分自身の基盤である主イエス・キリストとの結びつきを強さをより確かなものにするために更新する精進を積むことでした。

「カトリック教会の教え・第一部」(新要理書編纂特別委員会 委員長 糸永真一司教) から以下を紹介しましょう。

「キリスト以外には神から恵みも救いもないのでしょうか。教会は「諸宗教の中に見出される真実で貴いものを何も排斥しない」(第二バチカン公会議「キリスト教以外の諸宗教に対する教会の態度についての宣言」として、キリスト教以外の神から

の救いの可能性を肯定しています。神が多くの形で、また多くの仕方です。人類は古くから神を意識し、神を祀り、神に祈りをささげてきたと言われています。そしてそれぞれの民族や国には、神話や神々を讃える彫刻や絵画が実に多く残されていて、その他の色々な知識や学問は神への関心の後に出てきたものだと思ふことができます。

黙想会のご案内 あなたの生き方のヒントに

―みことばと二十六聖人の生き方から―
日時 7月14日(土) 15時30分〜16日(月) 13時30分
場所 イエズス会立山修道院(長崎黙想の家)
参加費 一万四千元 対象 18歳〜40歳代
申込先 〇九五―八二―四七五七七(Sr.中島)

五十回目のアチエス

レジオ・マリエ名瀬クリア

五月二十日(日)午後二時から名瀬聖心教会で、レジオ・マリエ名瀬クリア(指導司祭松永正男神父)の



聖母へ奉獻を表す名瀬クリアの会員たち

五十回目となるアチエスが集まったのは四つの教会からの会員と賛助会員の五十人で、それぞれのプレジデントには次の名前がついている。暁の星(笠利教会)、いと尊きロザリオ(聖心教会)、天地の元后(古田町教会)、ルルドの聖母(浦上教会)。

この日のアチエスでは、ミサ中、レジオの中心マリアへの奉獻と忠誠が誓われ、深い祈りのひとときを待った。ミサの後、教会に隣接する聖

司教執務室だより

執り成しの祈り

カトリック手帳を持っている人は多いと思うが、カトリック教会情報ハンドブックはどうか。教会歴史や教会住所録のほか、キリシタン史跡を巡る巻頭特集もあって、今年も関東編で切支丹屋敷に幽閉されたシドゥチ神父さんのことも取り上げられている。いづれにしろ、各家庭に常備して欲しい一冊だが、毎月の祈りの意向が記されている。七月の意向は「日本の殉教者の執り成しを願う」になっている。七月一日が一八八福者の記念日にあたるからだ。

鹿兒島教区で福者といえればオセロ七右衛門。ミサの後、列聖に向けてのお祈りを捧げている教会は多いと思うが、個人的にも毎日続けてほしい。その場合、ミサ後の祈りと同じものでなくてもいい。下記の射撃をお勧めしたい。「福者オセロ七右

衛門、私たちのためにお取次ぎください。アーメン。」手抜きと言えそうですが、短い祈り、短いことばは継続するための一つの条件でもあるので、あの短いノベナの祈りとともに、ぜひ試してほしい。読書課をはじめ朝、昼、晩、寝る前の各教会の祈りの後、ロザリオの後、この射撃を一言加えることにしている。一日何回でもうるさいくらいに繰り返すことがいかに大切かはあの不正な裁判官のとえ話(ルカー八・一一八)で立証済みだ。各家庭でも個人的にも工夫して、毎日、何度でも、この短い執り成しの祈りを口にして欲しい。「ありがとう」を一日一万回繰り返す人の話も聞いたことがあるが、この簡潔な執り成しの祈りこそ、日曜日と日曜日の間を埋める「やもめの訴え」になると信じている。教区中の信者が日夜声を上げるなら、列聖の時も早まるに違いない。



心カトリックセンター三階ホールで懇親会を開き、会員同士の情報交換や親睦を深め、今後の活動の活力を得て散会した。(大熊通信員/平三國)

新会長に當さん

連合壮年会

鹿兒島カトリック連合壮年会は、六月十日(日)ザ



短信

アルフオンソ合唱団

聖霊にささげられた谷山教会では、聖霊降臨の主日の五月二十七日(日)に教会の聖アルフオンソ合唱団と聖アルフオンソ管弦楽団の五十人によるモーツアルトのミサ曲が披露された。彼らの荘厳な演奏と歌声は聖堂いっぱいに響き渡り、聴衆を圧倒したようだった。

またこの日のミサは生前音楽好きだった信徒の追悼の意向も込められたほか、二人の子どもの洗礼式もあった。この子どもたちの家族はこの洗礼によって家族全員が受洗するという、教会にとっても大きな喜びとなった。(谷山教会レポーター)

修道女連盟総会と研修

五月二十七日(日)教区修道女連盟では、教区本部で総会と研修会を開き、本土と種子島から七十人余りの会員が集った。研修会の講師を務めたのは盛克志神父(レデンプトール会)。

お詫びと訂正

五月号「長崎巡礼感想」の大山さんと大山さんは秋名教会所属でした。お詫びし訂正いたします。

は谷山教会の當賢一郎さんが就任した。以下、新役員(敬称略)。
会長 當賢一郎(谷山)、副会長 藤山喜和義(玉里)、徳永善博(紫原)、書記 高竿寛実(吉野)、会計 西久保正志(ザビエル)、監査 川口茂(加世田)、黒崎博(鴨池)。
【写真は新役員】

純心学園で聖母行列

五月二十六日(土)鹿兒島純心女子学園では聖母月恒例の「聖母行列」を行った。当日は生憎の雨模様で、体育館での実施となったが、盛神父(レデンプトール会鹿兒島準管区長)司式のもと、大勢の生徒、学校関係者、卒業生などが見守った。



7月の会と催し

1日(日)	年間第十三主日
3日(火)	聖トマ使徒
4日(水)	松森孝郎神父霊名
8日(日)	山口重義神父霊名
14日(土)	栃尾泰英神父叙階記念(一九九三年)
15日(日)	年間の第十四主日
16日(月)	グイジュ神父天九十周年記念「グイジュ祭」・瀬留教会
17日(火)	典礼研修会・ザビエル教会・13時30分
21日(土)	村田源次神父命日(二〇〇七年)
22日(日)	宣教学校の集い・教区本部・13時30分
23日(月)	年間の第十五主日
25日(水)	救いの聖書の読み方講座「悪魔の誘惑に勝利する」・マタイ四章を読む」・ザビエル教会集會室・10時・五百円
28日(土)	ホリスティックスピリチュアルケア講座「一人の目を気にすることから解放される」・ザビエル教会集會室・18時30分・五百円
29日(日)	ユゼビウス神父命日(一九七九年)
30日(月)	年間の第十六主日
31日(火)	オリーブの会・教区本部・14時
	木村敏彦神父命日(二〇〇八年)
	ティエン神父叙階記念(二〇〇六年)
	聖ヤコブ使徒
	福崎英雄神父霊名
	キツペス神父の黙想会・マリア山荘・10時〜29日16時・参加費一円(宿泊代及び食事代込み)・申込先 ☎〇九九三七八一四九四五(福沢)
	久保芳一神父霊名(ルフィーノ)
	ハヌス神父叙階記念(一九五五年)

+KABAYAN SEKSIYON+ "PAGLALAHAD"

IV-MAKAPANGYARIHAN

Ang Diyos Ama ay inilalarawan bilang "Makapangyarihan," ang nag-iisang banal na katangiang binanggit sa Kredo. Ang kahalagahan nito ay maaring ipaliwanag sa ilalim ng tatlong mga katangiang. Naniniwala tayong ang kapangyarihan ng Diyos ay: 1) pangkalahatan o unibersal; 2) mapagmahal; at 3) isang misteryo.

Pangkalahatan-Ang kapangyarihan ng Diyos Ama ay pangkalahatan dahil Siya ay "PANTOKRATOR," ang Manlilikha at hari ng lahat ng bagay, higit sa sinumang amang naranasan natin ditto sa daigdig. Ihinihinto tayo nito sa pagkarapa sa anumang maling sentimentalismo tungkol sa Diyos na ating mapagmahal na Ama. Sumasampalataya tayo na: "Naghahari at nasasakupan niya ang lahat ng bagay, sapagka't ang kaitaan ng langit, at ang lalim ng mga kailaliman at ang hangganan ng mundo ay nasa kanyang mga Kamay".

Kaya mababasa natin sa Matandang Tipan ang Yahweh Sabaoth, "Panginoon ng mga Hukbo," at "El Shaddai," "Panginoon ng Kabundukan," na nagpamalas ng kanyang kapangyarihan lalo na sa pagpapalaya sa Exodo. "Inilabas mo sa Ehipto ang iyong bayang Israel, kasabay ng mga tanda at kababalaghan; ikaw ang nag-akay sa kanila, sa pamamagitan ng iyong lakas at taglay na kapangyarihan." Sa Bagong Tipan, nahayag ang kapangyarihan ng Diyos sa mga "sagisag" o himala ni Kristo, at lalo na sa Kanyang Muling Pagkabuhay. Ang makapangyarihan lakas ng Diyos ay nahahayag bilang Pangkalahatan (unibersal) sa paraang Siya ay parehong hindi maaabot higit sa lahat at gayunpaman, higit siyang malapit (malaganap) kaysa sa ating mga sarili. Ang kanyang lubos na kahigtan ay ipinahayag ni propeta Isaias: "Ang aking isipa'y di ninyo isipan, at magkaiba ang ating daan. Kung paanong ang langit higit na mataas, mataas sa lupa, ang daa't isip ko'y hindi maaabot ng inyong akala." Ngunit nauunawaan ng propatang nabanggit ang kahigtang ito ayon sa kabanalan ng Diyos: "Banal, banal, banal ang Panginoon ng Makapangyarihan!" Inuulit natin ito sa Santo sa bawat Misa.

Ang ganitong katangian ng kabanalan ay nagpapahiwatig na ang pangkalahatang kalaganapan ng presensiya ng Diyos. Kung kaya ipinagpapatuloy ng Santo ang mga salita ni Isaias: "Ang kanyang kaningninga'y laganap sa sanlibutan!"

Mapagmahal-Ngayon sapagkat inasahan nating lahat ang Diyos na laging pinakamalakas sa lahat at makapangyarihan, maaaring makaligtan natin ang pinakakapansin-pansin tungkol sa banal na kapangyarihan sa Biblia. Para sa ating may ideya sa "Ama," binabago ng Biblia ang ating ideya sa Diyos bilang "makapangyarihan." Ang "makapangyarihan" sa Biblia ay personal, at makatuwiran, at hindi gumagamit ng makasariling lakas at naghahatid ng ligalig sa lahat ng nilikha. Sa halip, ang lakas ng makapangyarihang Ama ay ang mapanlikhang personal na lakas ng Pag-ibig na di-marahas.

Katekismo-Pilipinong Katoliko (Fr. Dino Orloff)

東北巡礼の旅

森のイスキア、涙のマリアさまを訪ねて

ザビエル教会 山口登紀子



初女さんとおにぎり作りした参加者たち



聖体奉仕会の涙のマリアさま

二年くらい前から、「おむすびの祈り」で有名な青森県弘前にある癒しの里「森のイスキア」を主宰しておられる佐藤初女さんの所を訪れ、お会いしたいと思っておりました。このほど、毎月第三月曜日にザビエル教会で開かれている坂本神父さまの「ホリステイック黙想」のグループで、「森のイスキア巡礼」を企画し、「秋田の涙のマリアさま」の所も訪ねる巡礼が実現に到りました。初女さんが、鹿兒島や奄美に

の旅で、十二人の参加者がありました。羽田を経由して青森空港に十四時に到着。風はひんやりし、東北の気候は私たちに冬のように感じられました。バスで弘前市へ向かう途中、遠方には残雪の岩木山がそびえて、とても壮観、鹿兒島のみなさまに、是非お見せしたかったです。「森のイスキア」へ到着するとスタッフやボランティアの方が賑やかに出迎えて下さり、初女さんがドアの入口に正座して丁寧におじぎをされ、一人ひとりを迎えてくださったのです。私たちは、とても恐縮いたしました。初女さんは色白で、とても九十一歳とは思えない若さです。思

わす手を握らずにはいられません。夕食まで「森のイスキア」付近を散歩。小川に沿ってフキノトウ、ツクシがびっしり生え、スイセン、チューリップ、冬と春の季節が同時に見られたのです。また広大な湿地に一面ミズバショウが群生し、所々に紫黒色のザゼンソウを見つけ、感嘆の声を上げました。素晴らしい主の業に、心の中から賛美が起こってきたのです。夕食は、手作りのご馳走がテーブルいっぱい並

使われていません。因みに、イエス様を「神の聖者」と呼んだのも汚れた霊に憑かれた男でした(1・24)。なぜ、弟子たちはイエス様を神の子と呼ばなかったのでしょうか？ それはイエス様の御復活を目の当たりにするまで弟子たちはイエス様が本当に神の子であることを悟らなかつたからです。このことについては御受難のことを思い出して頂ければ説明の必要はないでしょう。では、なぜ、悪霊のみがイエス様を神の子と

呼んだのでしょうか？ その答えはマルコからはわかりません。しかし、考えるヒントになるのがマタイにある「神の子、かまわないでくれ。まだ、その時ではないのにここにきて、我々を苦しめるのか。」という悪霊に取りつかれた者の言葉にあるように思えます(マタイ8・29)。この「その時ではないのにここにきて、〜」という箇所は、原文では「その時の前にここにきた。そして〜」となつていきます。つまり、悪霊たちはイエス様によつて完全にこの世から消し去られる時が来ることを彼らは既に分かっていたのです。

では、「その時」とはどんな時なのでしょう。それは言うまでもなく終末、即ち、神の国が実現する時です。イエス様の御降誕によつて既にこの世は終末へと歩みを続けています。終末とは破滅の時ではありません。希望が実現する時です。神への愛と隣人愛がこの世に満ちる時にこそ、神の国も私たちの希望もこの世で実現するのです。イエス様が肉体をもってこの地上におられない今、イエス様が語られた最も大切な二つの掟を實踐することが、イエス様を「神の子」と呼ぶことになるのではないのでしょうか。

スーさん(鈴木助祭)のやさしいみことば イエス様を「神の子」と呼ぶ

文芸

霧島市 政 ノブ子
百合の花男の子乙女の初穂かな
純心学園 山頭 信子
聖母月賛美歌流る丘の上
愛光園 春山マリ子
六月の雨は優しい歌になる
出水市 沖 弘子
紫陽花の絨色濃きや堅信式
鹿兒島純心 川上 和
母の日やかの日育てし広き手を

短歌

鴨池教会 前田 儀子
水芭蕉咲き続く尾瀬沼に鶯の声冴えざえきこゆ
鹿兒島純心 川上 和
ガリラヤの水辺にそそぐ眼差しに綱を手放し素足のままで
愛光園 春山マリ子
生きるのは勇氣と罪の通り道弱い私に雨風となり
奄美市 林 常広
病持ち十数年我なりに神から恵み今にありつつ

び、初女さんとスタッフの方々も一緒にいただき、その後初女さんとスタッフの方々との分かち合いのひとときを持ちました。初女さんは質問に的確に答えられ、記憶力も素晴らしく、それでいて言葉遣いは常に謙虚で、見習うことばかりでした。講演活動も国内だけでなく海外にも行かれスタッフの方々が「驚くほどの体力が有りですよ」と話されました。

翌朝、初女さんも坂本神父さまのごミサにあずかりました。そして朝食後に待望のおむすび作りが始まったのです。初女さんは丁寧に米の洗い方からほぐし方を、そして一粒一粒に呼吸ができるようにとそつとやさしくおむすびを握られ、海苔もびつたり合うようにご飯を包まれ「タオルの上に並べると水分を吸収しますよ」と説明してくださいました。朝食を済ませたばかりなのに、でき上がったおむすびをいただくよりはり違うんです。「おいしい！」。お米一粒一粒が生

きていくのを感じ取るのができたのです。翌朝七時からは、坂本神父さまのごミサです。シスターの方々と地元信者の方々と一緒に、きれいな聖歌に心を合わせ、祈りをささげました。聖堂の裏には広いマリア庭園があり、木や花もよく手入れされ、ニッコリ笑う大きな石像のマリアさまも立っておられ、見た人を思わず笑顔にさせてくれました。